

学生だからこそ、伝えられる科学の魅力がある

～ NPO 法人 Science Station の設立と活動 ～

NPO 法人 Science Station 理事
東京大学理学部天文学科 4 年
藤原 英明

1. はじめに

2004 年 3 月、私たちは "Science Station" (以下、SS と書きます) という団体を発足させましたので、紹介させていただきます。この SS、一言で言えば科学の教育普及を行う団体です。「小さな天文学者の会」とは兄弟みたいなものですね！もともとは東京大学木曾観測所が毎年開催している高校生向け天文学研究セミナー「銀河学校」がきっかけでした。銀河学校卒業生の中には、のちに大学で天文学・地球科学などを専攻し、研究者を目指す人や、さらには、のちの銀河学校を自主的に手伝うようになった人も現れたのです（私もその一人）。そんな中、「銀河学校で得た刺激・感動を他の人にも伝えたい」と自然に考えるようになりました。そして今年、東京大学天文学教育研究センター長で前木曾観測所長である吉井謙教授らの指導の下、NPO 法人としての SS を立ち上げるに至ったのです。



SS 設立のコンセプト

2. 活動内容

SS の特徴は、「科学の楽しさ（と厳しさ）を知った経験を持つ学生が活動の主体である」「先端科学の現場にある研究者・施設の協力を得ることで、生きた科学の姿を伝える場を提供することができる」という点です。もともとは天文学関係者を中心に始まった活動でしたが、最近では、化学・物理学など様々な

分野の大学生・大学院生に参加してもらっています。そのような環境の中、現在では次のような活動をしています。

高校での出前授業（学生メンバーを講師として高校に派遣し、最先端の科学を高校生に体験してもらう）

文部科学省「理科大好きプラン」サイエンスパートナーシッププログラム企画への参加

観測天文学研究セミナー「銀河学校」(@木曾観測所)の企画運営

日本天文学会ジュニアセッション発表者への研究指導と旅費補助

科学教材の開発

科学セミナーやイベントの企画協力

今後、このほかにも、活動の幅を広げていき、できるだけたくさんの方々が生きた科学に触れていただけるような機会を作っていきたいと考えています。

3. 実際に活動してみても

実際に活動をはじめてみると、外部との連絡や講師・アシスタントの割り当てなど、難しい仕事もたくさんあります。しかしその分、エキサイティングですし、「社会人」として勉強になることも多いです。特に「出前授業」の活動は、全国紙に取り上げられたため、全国の高校からの依頼が増えた上、準備もたいへんです。自分が関わっている研究の生きた姿を高校生に分かりやすく伝えるにはそれなりの工夫が必要で、講師はみな苦勞しています。しかしその苦勞も

あって、実際の授業では大学生・大学院生講師が聞き手に近い視線で熱く語りかけることできているようで、高校生・先生からも好評です。授業後、講師に対して熱心に質問してくる高校生の姿は印象的です。また現役の大学生・大学院生が講師ということもあり、高校生からは進路・大学生活についての質問・相談も多く寄せられます。



出前授業で講師を務める大学院生メンバー

今後もより広い範囲の授業のテーマに対応できるように、講師の層を厚くしたいと考えています。

4. 「学生だからこそ、伝えられる魅力がある。」

SS は活動の主体が学生である若い団体です。学業との両立は確かに楽ではありません。しかし、学生時代に学外で教育に携われるこの活動は、教えることの難しさを知り、さらには自分自身を見つめなおす良い機会となっています。このような機会は、他ではなかなか得られないでしょう。私自身、これからどんな経験ができるのか、どんな出会いがあるのか、とてもワクワクしています。



運営協力しているサイエンスパートナーシッププログラム「星の教室」(@東京大学木曾観測所)での1コマ

「実際に科学の謎に挑んでいる学生だからこそ、伝えられる魅力がある。」

そんな思いを胸に、今後も、現在進行形の科学の姿を伝えていきたいと思えます。



< 連絡先 >

〒181-0015 東京都三鷹市大沢 2-21-1
東京大学天文学教育研究センター吉井研究室内
NPO 法人 Science Station 事務局
Tel: 0422-34-5027
URL: <http://www.sciencestation.jp>
E-Mail: SSadmin@sciencestation.jp